

2023年5月15日

報道関係者各位

日本歯磨工業会

2023年度 歯と口の健康週間にあたって

日本歯磨工業会（会長 濱 逸夫）では、歯と口の健康週間（6月4日～10日）に向けて例年どおり口腔衛生を呼びかける歯と口の健康啓発ポスターを制作し全国にお届けします。

本リリースでは、「歯と口の健康週間」に関連する取り組みと当工業会の活動についてご紹介します。

『歯と口の健康週間の沿革』

「歯と口の健康週間」は、国民に対する歯科衛生思想の普及運動として1928年6月4日に「むし歯予防デー」の名称で行われたのに始まり、以後、戦時中一時中断しましたが1949年から週間行事となりました。1952年には6月4日から10日までの1週間に定められ、1958年より「歯の衛生週間」として毎年実施、2013年より「歯と口の健康週間」として新たにスタートしました。

『2023年度 歯と口の健康週間について』

目的：この週間は、歯と口の健康に関する正しい知識を国民に対して普及啓発するとともに、歯科疾患の予防に関する適切な習慣の定着を図り、併せてその早期発見および早期治療等を徹底することにより歯の寿命を延ばし、もって国民の健康の保持増進に寄与することを目的とする。

標語：「手に入れよう 長生きチケット 歯みがきで」
（群馬県安中市立松井田小学校 5年 村山花鈴さん作）

本年度重点目標：生きる力を支える歯科口腔保健の推進～生涯を通じた8020運動の新たな展開～
歯と口は国民が健康に生きていく力を支えるものであり、歯科疾患の予防や歯と口の健康を保持する取り組みを進める必要があることから、「生きる力を支える歯科口腔保健の推進」を重点目標とする。

実施期間：2023年6月4日（日）～同年6月10日（土）まで

主催：厚生労働省、文部科学省、日本歯科医師会、日本学校歯科医会

< 1 > 2023年度 歯と口の健康啓発ポスターの配布

当工業会では、例年どおり今年も口腔衛生を呼びかけるポスターを制作し、全国にお届けいたします。

『企画・制作』 厚生労働省、文部科学省、日本歯科医師会、日本学校歯科医会および日本歯磨工業会

『デザイン』 アランジアロンゾ (B3サイズ 多色刷り)

『2023年度 標語』 「手に入れよう 長生きチケット 歯みがきで」

【日本学校歯科医会】が募集した小中学校の標語の中から群馬県安中市立松井田小学校5年の村山花鈴さんの作品が選定されました。

「8020運動を進めよう」(厚生労働省・日本歯科医師会が提唱する口腔保健の目標)

「一生、自分の歯で食べよう」(日本歯科医師会の標語)

「歯みがきで心と体を健やかに」(日本歯磨工業会のコンセプトメッセージ)

『配布』

ポスター26万枚を作成し、全国の小・中学校をはじめ、保健所、歯科医院、各関係官庁、協力団体などへ配布し、口腔保健の大切さ、毎食後の歯みがきの大切さを呼びかけています。

『活用』

このポスターは、歯と口の健康週間だけでなく、「口腔保健の必要性を訴求する年間ポスター」としてご活用をお願いしています。「歯と口の健康週間(6月4日～10日)」後は、下部の日付部分を切り取って、ご使用いただけるレイアウトにしています。



2023年度 歯と口の健康啓発ポスター

< 2 > ホームページからの情報発信について

「みがこうネット」(<https://www.hamigaki.gr.jp/hamigaki2/>)では、新たなコンテンツの追加、情報の更新など、生活者のみなさまへ歯や歯みがきに関する情報を発信しています。また、「工業会サイト」(<https://www.hamigaki.gr.jp/>)では、歯磨出荷統計の掲載など工業会の活動の様子を適時伝えています。

1. 2022年度の「みがこうネット」からの主な情報発信

(1) 歯みがき啓発のための読者参加型キャンペーンの継続実施

① 歯と口の健康週間企画「コンセプトメッセージキャンペーン」(4月～6月)

「歯みがきで心と体を健やかに」をテーマとするイラスト募集・穴埋めクイズを実施。

応募総数 6,729件 (穴埋めクイズ 6,729件、イラスト 164件)



日本歯磨工業会会長賞



優秀賞の一例



佳作の一例



キッズ優秀賞の一例

② 第11回「クイズに答えて『歯カセ』になろう！歯みがきクイズキャンペーン」(8月～10月)

応募総数 10,328件 期間中、ホームページのアクセス数も平常月の4倍に増加。

(2) 歯みがき啓発情報サイト「みがこうネット」リニューアル(12月実施)

お口のセルフケアに関する豊富なコンテンツを探しやすく、画面サイズに応じて見やすく改訂。



(3) アニメ「がんばれ！みがく君」更新(2回)

「第34話 新たな日常に新たな挑戦を！」

(在宅勤務生活での新たな挑戦)

「第35話 今どきの昼歯みがきの術を覚えよ！」

(コロナ禍の昼歯みがき)

2. 「みがこうネット」の2023年度コンテンツ制作・更新予定

(1) 歯みがき啓発のための読者参加型キャンペーンの継続実施

①歯と口の健康週間企画「コンセプトメッセージキャンペーン」(4月～6月)

「歯みがきで心と体を健やかに」をテーマとするイラスト募集・穴埋めクイズを実施。

②第12回「クイズに答えて『歯カセ』になろう！歯みがきクイズキャンペーン」(8月～10月)

(2) 歯みがき啓発情報サイト「日本歯磨工業会サイト」リニューアル(11月実施予定)

デザインを一新し、画面サイズに応じて見やすく改訂。

(3) 各コンテンツの更新

- ・はみがきカレンダー(年4回更新) ・がんばれ！みがく君(年2回更新)
- ・メールマガジンの継続発行(キャンペーン開始・新コンテンツの告知)

3. 歯と口の健康週間企画

●日本歯磨工業会 コンセプトメッセージ浸透キャンペーン(4月～6月)

日本歯磨工業会コンセプトメッセージ「歯みがきで心と体を健やかに」の趣旨を広く啓発することで歯と口の健康への関心を高めます。

A賞:「歯みがきで〇〇〇を健やかに」の空欄に答えると正解者の中から抽選で100名様に500円の図書カードを進呈

B賞:新コンセプトメッセージ「歯みがきで心と体を健やかに」の文字に色や飾りをつけた作品を募集し、コンセプトにあった素敵な作品を表彰。日本歯磨工業会会長賞10万円、優秀賞5万円×3名、キッズ優秀賞(5千円の図書券3名)、佳作(オーラルケアセット5千円分×10名)

< 3 > 啓発冊子の配布

オーラルセルフケアの重要性や効果的なケア方法を解説する冊子を適宜改訂しながら配布しています。

- 保健指導者向け「お口のセルフケアハンドブック 歯みがきで心と体を健やかに」(B5版31ページ)
- 歯科専門家向け「歯磨剤の科学」(B5版、データ図表多用)

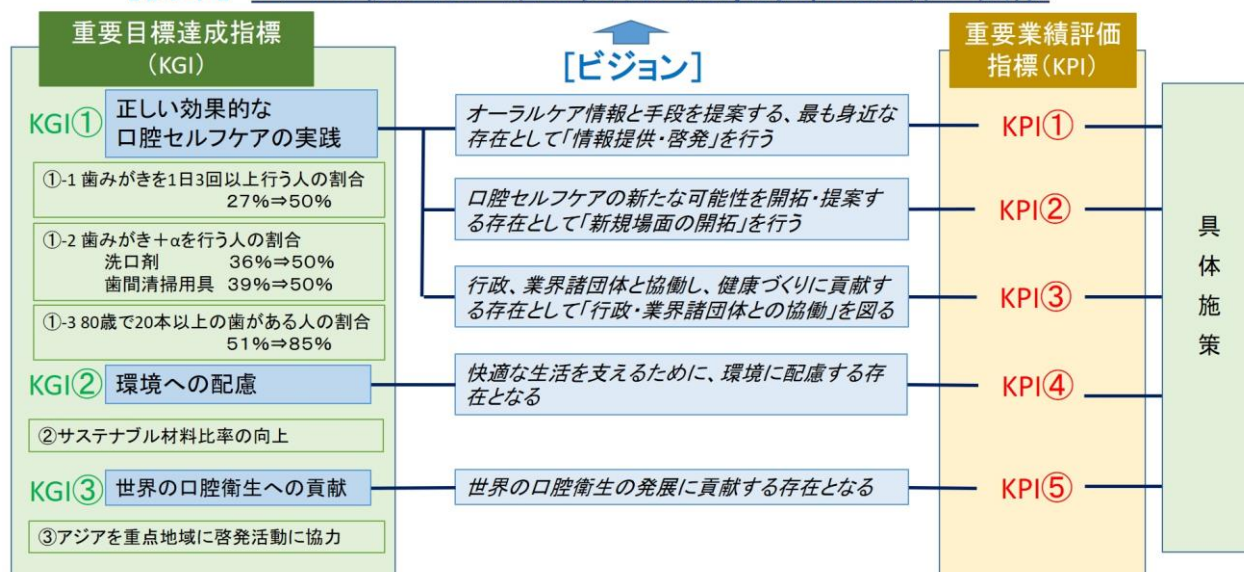
< 4 > 日本歯磨工業会の最近の主な活動のご紹介

1. ビジョン実現に向けた活動指標の策定

2017年に制定した使命とビジョンの実現に向けて、工業会の活動を評価するための指標となる重要目標達成指標(KGI)と重要業績評価指標(KPI)を策定いたしました。使命・ビジョンとのツリー構造(下図参照)を基本に、PDCAを回して工業会活動を活性化していきます。

今後、各項目については実態調査等も行いながら優先順位付けをして、進捗管理の仕組み作りやKPIの具体的な指標と目標値の設定を行って参ります。

【使命】 人々の快適な生活の実現と健康寿命の延伸に貢献



< KGI 設定の参考情報 >

○ 1日3回歯みがきする人の割合：50%

⇒ 日本歯磨工業会として目指したい理想値として設定（2016年 厚労省歯科疾患実態調査では27%）

○ 歯みがき+αを行う人の割合

・ 洗口剤の使用率：50%

⇒ 日本歯磨工業会として目指したい理想値として設定（2022年 ライオン(株)調査^{*1}では36%）

*1) サンプル数：女性1600名、男性600名 各人口構成比割付にて回収 男女はWB推計にて合算

・ 歯間清掃用具の使用率：50%

⇒ 日本歯磨工業会として目指したい理想値として設定（2016年 厚労省歯科疾患実態調査では39%）

○ 80歳で20本の歯がある人の割合：85%

⇒ 厚労省目標（検討案）^{*2}を参照（日本歯磨工業会としても賛同）して設定

*2) 厚労省「歯科口腔保健の推進に関する基本的事項（第二次）」資料

(<https://www.mhlw.go.jp/content/10901000/001070918.pdf>)

（2016年 厚労省歯科疾患実態調査では51%）

2. 地球環境問題への取り組み

「プラスチック資源循環促進法」への対応として、ハブラシ・歯間清掃具、ハミガキチューブ、洗口液・液体ハミガキのプラスチックボトルなどについての環境配慮設計ガイドラインを策定し、本日、日本歯磨工業会ホームページで公開しました。プラスチック製品・容器の設計・製造・使用にあたって、3R（リデュース・リユース・リサイクル）+Renewable（再生可能資源の利用）を推進しつつ、再生プラスチック利用やリサイクルしやすい構造の実現、プラスチックごみの流出防止などの観点を加えた詳細項目における環境配慮設計の推奨施策を定めました。今後、加盟各社をはじめ関連業界に広くオーラルケア製品の環境配慮設計の推進を働きかけてまいります。

⇒ [日本歯磨工業会「オーラルケア製品に関する環境設計のためのガイドライン」PDFへ](https://www.hamigaki.gr.jp/hamigaki1/pdf/guideline.pdf)

(<https://www.hamigaki.gr.jp/hamigaki1/pdf/guideline.pdf>)

3. 歯科衛生士養成校、歯科衛生士会等での特別授業（講演）開催

日本歯磨工業会では技術委員会が中心となり、歯みがきに関する正しい情報を提供することを目的に、1993年から毎年、歯科衛生士養成校および歯科衛生士会へ専任講師や技術委員を派遣して特別授業、講演会を開催しています。2022年度の開催回数は37回（歯科衛生士養成校32回 歯科衛生士会5回）、本年度も積極的に活動します。

※これまでの累計実施実績（1991年～2022年）

累計実施校数(廃校除く) 116校 ～全国の約7割～
延べ受講人数 33,008人

■日本歯磨工業会について

国民の口腔衛生の普及・向上に寄与するとともに、健康産業として歯磨および関連業界の発展を図ることを目的とした団体で、行政官庁、関連業界、消費者団体等との情報交換、歯磨剤に関する情報提供、口腔衛生に関する健康啓発情報の発信を行っています。例えば、「歯と口の健康週間」に協力し、歯磨剤を通じての口腔衛生の普及・向上を図るキャンペーンを行っているほか、ISOなどの国際会議に積極的に参加し、歯磨剤等の国際規格作成にも協力しています。1971年6月に設立、会員14社、賛助会員14社が参加し、業務委員会、広報委員会、広告委員会、技術委員会、薬事委員会で活動しています。

本件のお問い合わせ先： 日本歯磨工業会 清原 隆生 TEL 03（3249）2511

〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町 2-4 三報ビル 7F

TEL03-3249-2511 FAX03-3249-2513 <https://www.hamigaki.gr.jp/>

2023年「歯と口の健康週間」にあたって

日本歯磨工業会 会長
濱 逸夫

「歯と口の健康週間」が今年も6月4日から10日まで、全国的に展開されます。マスク着用の義務解除や新型コロナウイルス感染症の5類への移行が施行され、久しぶりに平常時での展開となります。本週間の目的は、歯と口の健康に関する正しい知識を国民の皆様に対して普及啓発するとともに、歯科疾患の予防に関する適切な習慣の定着を図ることにあります。

当工業会において、「歯と口の健康週間」は、たいへん重要な位置づけであり、従来から、その意義と目的を周知するため、官民一体となった広報活動を展開してまいりました。今年も例年通り、厚生労働省、文部科学省、日本歯科医師会等と協力して「歯と口の健康啓発ポスター」の制作・配布を図ると共に、「コンセプトメッセージキャンペーン」など幅広く展開し、「歯と口の健康週間」の一層の盛り上げを図ってまいります。

歯磨工業会は、2021年に策定したコンセプトメッセージ「歯みがきで心と体を健やかに」の下、国民の皆様の健康づくりに繋がる生活者の行動変容に貢献し続けていくことが、社会的使命であると捉えています。

2021年の日本人の平均寿命は、男性が81.47歳、女性は87.57歳と、過去最高を更新した2020年と比較して若干下回りましたが、平均寿命と健康寿命の差は依然として大きい状況です。健康寿命を延伸し、健康格差を縮小することは、健康長寿社会を実現するための国の課題でもありますが、乳幼児期から高齢期迄のすべてのライフステージにおける口腔衛生の普及に努め、日常生活の中により良い習慣として浸透させていくことが、全身疾患の予防につながり、国民の健康増進・健康寿命の延伸に貢献するものと考えております。

さて、当工業会で取り纏めた出荷統計によりますと、2022年（令和4年）の歯磨類全体の出荷金額は1,569億円となりました。2007年から15年連続で前年実績を上回り、過去最高の出荷金額となり、堅調な成長を遂げております。

このことは、感染症による影響もあり、お口の健康が「全身の健康」を保つ上でとても重要であることが徐々に認識され、当工業会及び会員各社による活動が少なからず影響している結果だと考えております。

なお、当工業会では2017年より、「歯と口の健康を通じて、人々の快適な生活の実現と健康寿命の延伸に貢献する」ことを使命と定め、5つのビジョンを制定して工業会活動を進めております。

今般、その実現に向けた活動指標を策定いたしました。その目的は、工業会の諸活動が上位の目的や使命・ビジョンの実現に寄与できているかどうかを検証し、工業会活動をより一層意味のあるものへと活性化していくことです。

その中で重要目標達成指標（KGI）として掲げた1つ目の項目は、【正しい効果的な口腔セルフケアの実践】であり、「歯みがきを1日3回以上行う人の割合を50%に」、「洗口剤と歯間

清掃用具使用率を50%に」、「80歳で20本以上歯が残っている人の割合を85%に*2」という指標と目標値を設定しています。2つめの項目【環境への配慮】は、「サステナブル材料比率の向上」を指標に設定しました。3つ目の項目【世界の口腔衛生への貢献】は、アジア地域を重点地域に啓発活動に協力していくこととしました。

今後、本活動指標を通じて工業会活動を一層活性化させてまいります。

皆様方には格別のご支援、ご協力を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。